

みむろ

第148号

千種小学校

R7.9.12

実りの秋、充実した学習活動をめざして

教頭 村上 幸史

今年も記録的な猛暑が続いた夏でしたが、近頃は朝夕めっきり涼しくなり、少しずつ秋の気配を感じる時季となりました。保護者、地域の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平素は、本校の教育推進に格別のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

去る八月三日、小中学校PTAの皆様と地域の皆様の協力のもと、「小中合同リサイクル活動」を実施しました。また、八月二十四日には、「PTA奉仕作業」を実施しました。おかげをもちまして、児童たちは、整備された環境のもと、気持ちよく二学期のスタートを迎えています。ご協力いただきましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

さて、よく「〇〇の秋」と言われるように、秋は空気がさわやかに澄み渡って過ごしやすく「じつくり」と何かに取り組むには、最適の季節です。二学期は、

「園小ふれあい運動会」や「合同文化祭」をはじめ、様々な学校行事が計画されています。また、各教科の学習もより高度な内容へと進んでいきます。これからの季節、過ごしやすい気候と落ち着いた生活の中で充実した学習活動を展開していきたいと考えております。実りの秋、子どもたちの更なる成長をめざして、全教職員が共通理解のもと、一致協力して指導してまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

秋の夜長、読書はいかがでしょうか

去る八月五日、千種中学校にて「千種町ユースサミット」が開催されました。千種高等学校、千種中学校、千種小学校からそれぞれ生徒・児童の代表が集まり、「生活アンケート」の結果を基に、よりよい生活や学校

づくりをめざして討議し、方針を提案する会です。

本年度は、読書の時間が確保できていない生徒・児童が多いとの結果を受け、「もっと読書の習慣を身につけられるように取組を進めよう。」という提案が出されました。本校でも二学期から六年生や図書館担当教員を中心に、読書活動の充実に取り組んでいくことになっています。

本校では、地域の方に学校読書ボランティアに入っていただき、「お楽しみ読書（読み聞かせ活動）」などで学校の読書活動を支えていただいています。また、本校の近隣には「ちくさ図書館」もあり、読書を習慣化し、子どもたちが読書に親しむ態度を育むにはよい環境が整っています。

「読書は心の栄養」という言葉があります。これから迎える秋の夜長、ご家庭でも家族一緒に本を読む時間をもたれてはいかがでしょうか。様々なジャンルの本に触れることが、子どもたちの豊かな心づくりにつながることを願っています。

地域の皆様による通学路の草刈りや見守り活動のおかげで、児童は安全・安心に登下校ができています。心よりお礼申し上げます。

九月の行事予定

- 十二日(金) クラブ活動
- 十七日(水) 十八日(木) 修学旅行
- 十九日(金) 稲刈り
- 二十二日(月) 四年しそウ森林の探検隊
スクールカウンセラー
- 二十四日(水) 六年三叉探り
- 二十五日(木) 三年環境体験
- 二十六日(金) 一・二年手話教室

十月の行事予定

- 一日(水) 学習費集金日
- 六日(月) 六年紙漉ぎ体験
スクールカウンセラー
- 八日(水) 運動会リハーサル
- 九日(木) 貯金日
- 十一日(土) 園小ふれあい運動会
- 十三日(月) 予備日
- 十四日(火) 振替休業日
- 二十一日(火) 四年しそウ森林の探検隊
- 二十六日(日) ふれあいフェスタ

メディア・あいさつ標語

メディア標語

メディアより 家族の団らん
かけがえのない時間

4年

あいさつ標語

あいさつで みんなしあわせ
うれしいな

2年



はしろうかいのがつしゆく

ちくさあーるしー(はしろうかい)のがつしゆくがありました。みんなで42・195きろをりれーではしりました。すぐくあつくて、あせがいっぱいでました。しんどかったです。

とまるときは、ままがいなくてさみしかったけど、ばばがいたからこわくなかったです。ねるまえにこわいはなしをききました。こわかったけど、ねむれてうれしかったです。えーがいやのおふるにも、みんなではいりました。おゆがあつかったです。なつやすみは、がつしゆくだけでなく、おねえちゃんといっしょにはしるれんしゆくもしました。いっばいはしりました。がんばりました。

プールに行ったよ

八月二十日の夕がた、ともだちともだちのおかあさんと、B&Gプールに行きました。小さいプールと大きいプールを、行ったり来たりしてあそびました。上をむいてうかんざりして、たのしかったです。ぼくは、すこしおよげたり、かおをつけれるようになったりしてうれしかったです。

みようけん夏まつり

みようけん夏まつりを、ともだちとまわりました。やたいで、ポテトを食べたり、くじびきをしたりしました。みんなだまわることができて、たのしかったです。また来年もみんなで行きたいです。

はしろうかいの合宿

はしろうかいの合宿の二日目の話をします。はじめは、42・195キロをりれーで走りまわりました。そのあとにBBQをしました。おいしかったです。さいごにすいかわりをしました。そのあとには、夕すずみ会がありました。さいしょに、メロン組のたいこを見ました。みんなががんばってすこいと思えました。そのあと、お菓

しみお店がありました。くじびきは、なんと一番いいやつが当たりました。うれしかったです。それから、わ投げとピカピカ金魚すくいと、じゃんけんゲームをしました。

さいごは、うちあげ花火を見ました。目の前に花火がとんできてびびりしたけどおもしろかったです。

楽しかったじん大キャンプ

八月十六日に、じん大キャンプに日本海に行きました。最初に海に入って遊びました。海は波が高かったのですが、あまり遠くまで泳ぐことはできませんでした。なので足がとどく所でもぐって見てみると、たくさん魚がいきました。海で楽しく遊べて良かったなと思いました。

海で遊び終わったら、バーベキューをしました。お肉がとてもおいしかったです。夜にはキャンプファイヤーをしました。キャンプファイヤーで火をつけて、その火の周りでいろいろなゲームをしました。とてもおもしろかったです。ねる時はテントでねました。夜は暑苦しくてあまりねむることができませんでした。でも、去年のキャンプよりはねれたので良かったです。

次の日は、自分たちでご飯をたきました。まず、お米をあらって入れ物にいれた後、バーベキューで使った場所に火をつけて、その上でたきました。お米がぶくぶくなってきたら、ダンボール箱に入れて完成です。朝ご飯は自分たちで作ったご飯とおしるでした。ご飯は少しかたかったけど、とてもおいしかったです。その後、みんなといっしょに海に行きました。今回は波が低かったのでたくさん遊べました。魚はちよつとしかいなかったけどとても楽しかったです。お昼ご飯にはカレーを食べました。おいしいカレーでした。バスの帰りにアイスクリームを食べました。キンキンに冷えていてとてもおいしかったです。来年も、じん大キャンプで楽しいことをしたいです。



夏休みの思い出

五年

今年の夏休みに一番頑張ったことは、ピアノのコンクールです。課題が出たのは三月ぐらいで、ひき始めはとても大変でした。予選まで約五月、六月ぐらいいから速くひけるようになりまし。発表会や講習会にも行って、レッスンで先生にとてもほめられました。

予選では、ひく前にあまり演そうのことは考えないようにしてリラククスするように言われました。だから、あまりきんちようせずいられた。しかし、ひく順番がおそかったため、少し不安になりました。他の子がひいている曲がちがうから、自分がひく曲の最初が思い出しづらかったです。でも、私がひく前の子がひいている時、少し楽しみになっていました。そして、ステージの上立つと、審査員の人とお客さんは、前をあまり向いていなかったから楽になりました。ひいているとちゆうも、今まで一番楽しくて、自分でも上手にひけていると思えました。

ひいた後も先生から、「今までとてもよかったですよ。入賞していても気にしないでね。」と、言われました。結果を見てみると、入賞していませんでした。でも、それは「審査員の好みだから。」

と言われて少しくやしさがへっていききました。コンクールは結果よりも目標に向かって頑張っていくことが大事だということが分かりました。来年もコンクールに出ようと思えます。もし入賞してなくても、このことを思い出して、次も頑張ろうと思えます。

【社会を明るくする運動 優秀賞】



世の中の暗いニュースを減らすために

六年

テレビで、たくさん事件が毎日放送されていますが、その事件を起こした人には、それぞれ理由があると思います。イライラしたり、もやもやしたり、いろんな気持ちがあふれ出したから事件になってしまうんじゃないかなと思います。事件を起こした人は悪い

人だと多くの人が考えるだろうけど、その人がもし何かなやんでいることがあったなら、だれかに相談したり周りの人が話を聞いてあげたりしたなら、もやもやが消えたかもしれないと感じました。

わたしの家族や友達などの周りの人は、みんな優しく、わたしが作業に困っていたらすぐに助けてくれます。体調が悪かったら、「大じよう夫？」

と声をかけてくれます。でも、事件が起きてしまふのは、おたがいの思いやりが足りなかったのかもしれない。わたしは、周りの人に思いやりの気持ちをわすれないようにしようと思えました。

ニュースで事件のことを取り上げるのは、見ている人に知らせるだけでなく周りの人を大切にしてほしいという思いもあると思います。でも、一人だけが心がけていても、事件を起こす人は減らないので、みんなが相手を思いやつてほしいです。

自分も相手も笑顔になれば、思いやれていると考えたのですが、正直、わたしは、相手に素っ気ない態度をとってしまうことがあります。でも相手は、気にしていないように話しかけてくれるので、本当に優しいと思います。わたしは、改めて「これが思いやりってことなんだ」と感じました。その時に相手を理解することも大切なんだなと気づきました。相手のことをよく知っておかないと、相手が喜んだり笑顔になれたりできない「思いやり」ができないと思つたからです。

今でも、事件はたくさん起きています。でも、みんながみんなを大切に、時には相談したり相談に乗ってあげたりすることで、だれかを傷つけることが減るとわたしは思っています。まずは、相手を知ることからでも、相手を思いやることにつながると思いました。わたしはこれから、家族や友達、地域の方とも、もっと会話をしてもっと相手を思いやりたいたいです。

